

Association Goes Beyond AUTOSAR

AUTOSAR の枠を超えた連携

執筆者

Thomas Rüping 氏
COMASSO e.V.

マネージング
ディレクター

Peter Trechow 氏

フリーランス
ジャーナリスト

COMASSO e.V.が AUTOSAR ベーシックソフトウェアを提供

AUTOSAR はこの 10 年間で、その規格が競合組織間の境界を越えて適用可能であることを示しました。しかし、標準化が仕様書レベルに留まり続けるかぎり、統合・設定・テストに要する工数は必要以上に多いまです。そこで、Bosch 社により設立された非営利団体 COMASSO e.V.が、AUTOSAR ベーシックソフトウェアに関する業界規模の基準策定に乗り出しました。

2013 年 5 月。AUTOSAR プラットフォーム上での協力は成功しているとはいえ、最近になって、より詳細に調べてみると、その限界に近づいていることが分かりました。仕様書レベルの標準化ではゴールに到達できないことが分かったので、Bosch グループは今回イニシアチブを取ることを決断しました。AUTOSAR ベーシックソフトウェア (BSW) に、その時が来たのです。

Robert Bosch GmbH および ETAS GmbH が共同で COMASSO という登録非営利団体を設立してから 1 年が経ちました。メンバー数は少しずつ増えて 20 を超え、その中には MAN 社、CATERPILLAR 社、MAGNA 社、AVL 社などの企業も含まれています。メンバーのプラットフォームは AUTOSAR BSW の共同計画、開発、テストに必要なものを備えています。

もしかすると、このような取組みを登録団体という枠組みの中で行うのは適切ではないと思われるかもしれませんが、この共同ソフトウェアプロジェクトはこの種の組織構造で行うのが最も無駄がなく最も民主的な方法であるということが、着手前の準備期間中に証明されました。COMASSO は営利志向ではなく、すべての関係者にとって有益な開発分野に焦点を合わせて活動しています。そのため、インフラストラクチャ、管理、およ

び経理の費用に充てることだけを目的として、あえて少額の会費が設定されています。

そもそもこの団体が設立されることになったのは、実装の多様化が急速に進んでいたからでした。このように多様化が進むと、多くのプロジェクトでは統合・設定・テストの工数が増えてしまい、お客様にとってもベンダーにとっても出費がかさむばかりでよいことは何もありません。無償の BSW は、競争に影響しないすべての領域に救済策を提供することを目的としています。

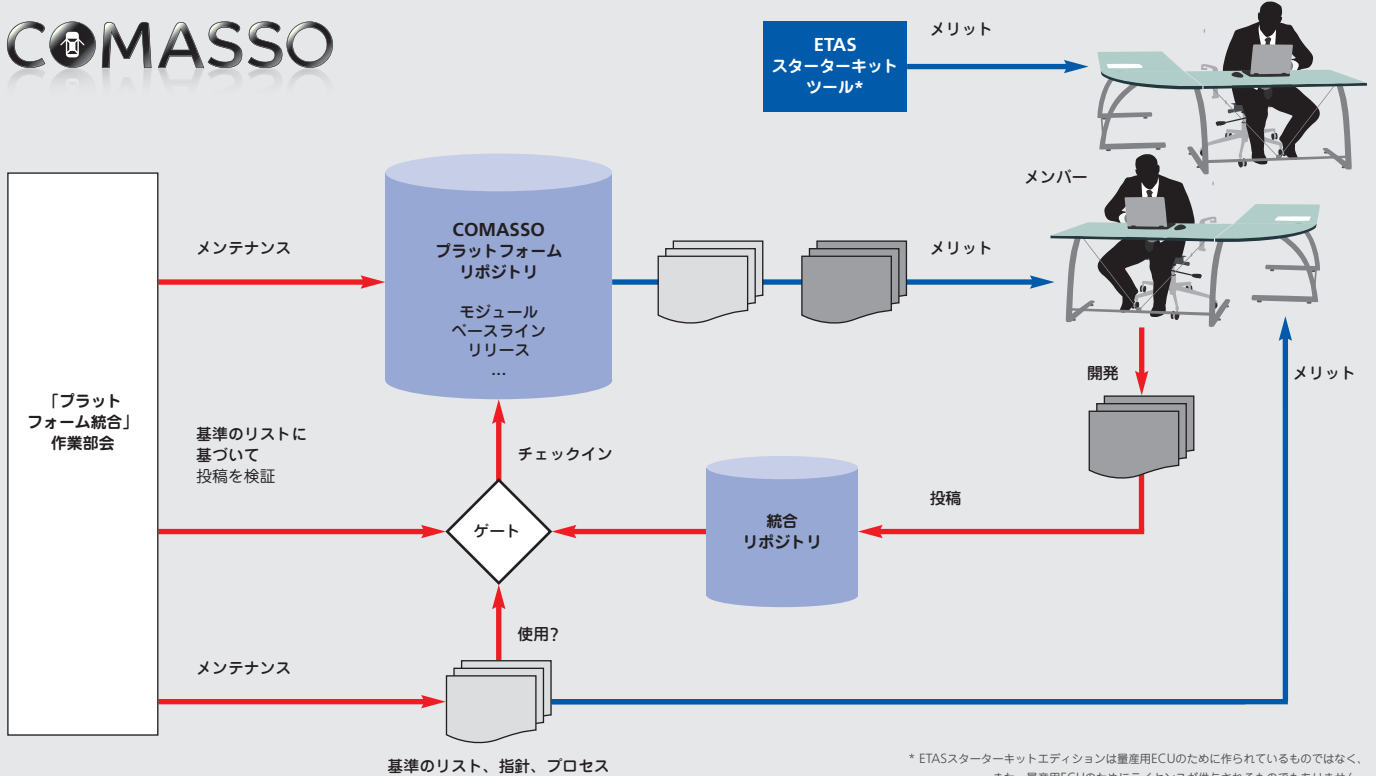
AUTOSAR BSW は拘束力のある指針、プロセス、および基準をベースにして成り立っています。すべての COMASSO メンバーが参加できる中央作業部会では、将来行われるすべての修正および今後の開発にも、これらのルールを順守しています。また、メンバーは自社開発のソフトウェアを登録して共同プロセスに貢献することも奨励されます。そうしたメンバーからの提案が統合リポジトリにアップロードされると、団体の基準に適合しているかどうかのチェックを経て、プラットフォームリポジトリに移されます。これらのリポジトリには団体のメンバー全員がアクセスできます。

COMASSO には AUTOSAR の全メンバーとその系列企業が参加できます。このモデルは参加により成長し、

COMASSO のメンバーは参加によるメリットを得ることができます。参加企業の社員は自動的に BSW をトレーニングのために利用できるようになり、開発に取り入れてほしい自分のアイデアを投稿できるようになります。さらに、営利目的のプロジェクトへの完全な使用権が得られるうえ、COMASSO の IP 固有規則および規約による包括的な保護も受けることができます。

それにしても不思議なのは、なぜ Bosch 社が AUTOSAR コミッティの外でイニシアチブを取ろうとしたのかということです。それには以下のような現実的理由があります。AUTOSAR の焦点は仕様書に向けられているため、オープンソースプロジェクトの実装は AUTOSAR の対象にはなりません。そこで Bosch 社は COMASSO を設立し、長年の懸案事項について一歩を踏み出しました。その目的は、AUTOSAR のあらゆる可能性を明らかにして徹底的に引き出すことでした。関係者は最初の経験を集積するために COMASSO ベースのスターターキットを使用することができます。詳細に関するご質問には COMASSO および ETAS のコンタクトパートナーがお答えします。

COMASSO



* ETAS スターターキットエディションは量産用 ECU のために作られているものではなく、また、量産用 ECU のためにライセンスが供与されるものでもありません。

ETAS は COMASSO を支援しています

ETAS は COMASSO 設立に際し、AUTOSAR に長年携わってきた経験を発揮しました。また、COMASSO ベーシックソフトウェアを初めて使用する際に役立つ無料のスターキットもご提供しています。量産工程に関しても、ETAS のポートフォリオから数々の魅力的な製品およびソリューションをご提案しています。

- **ETAS RTA-OS/RTA-RTE** : この強力な AUTOSAR オペレーティングシステム (OS) およびランタイム環境 (RTE) が、COMASSO により供給される AUTOSAR プラットフォームソフトウェアを完全なものにします。Bosch 社はすでに RTA-OS および RTA-RTE を多数適用しているため、それらが、量産プロジェクトにおける COMASSO ベーシックソフトウェア (BSW) との組み合わせにおいて第一候補となるのは自然なことでしょう。

- **ETAS ISOLAR-A** : この AUTOSAR オーサリングツールは、各 ECU プロジェ

クト用の COMASSO BSW スタックのセットアップなど、AUTOSAR の設定手法を全般的にサポートしています。

- **ETAS ISOLAR-EVE** : この PC ベースの強力なバーチャル AUTOSAR ECU を使用することで、開発の早い段階で AUTOSAR ソフトウェアの効率的評価を容易に行うことができます。ISOLAR-EVE は任意のベンダーの AUTOSAR BSW に適応しながら、同時に COMASSO BSW コンポーネントを取り扱うことができます。これにより、ユーザーは効率的で高品質な AUTOSAR ソフトウェアの開発・評価をすぐに開始できます。

- **専門家が包括的にサポート** : ETAS 組み込みソフトウェアおよびセーフティコンサルティングチームが、トレーニングやサポートなどにより COMASSO BSW 導入を包括的にサポートします。ETAS の専門家が COMASSO モジュールの設定・統合、お客様固有の改造、さらには新しい機能やモジュールを追加する機能拡張もサポートします。ETAS はまた、AUTOSAR ベーシックソフトウェアをご

COMASSO アソシエーションの共同モデル

自分で開発することも COMASSO メンバーになることも希望しないお客様を対象に、信頼できる AUTOSAR ベーシックソフトウェアを配備するお手伝いもしています。